



香 風



令和 8 年
7 月 1 7 日 第 5 号

編集責任 校長 古川志乃

〔南中学校 学校教育目標〕

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

〔中期的な教育目標〕

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

〔本年度の重点目標〕：

「目標に向かって、共に励まし合い、伸ばし合う生徒の育成～繋ぐ！共に創る！～」

さあ、明日から夏休み！あなたは、この夏をどのように過ごしたいですか？些細なことでも構わないので、自分なりに目標を立て、継続して取り組む夏にしてほしいと思います。自分自身を鍛える夏にしてほしいと思います。「野球が上手になるために、毎朝、起きて素振りを100回する!」「夏休み中、10冊本を読む!」「お風呂掃除を毎日する!」「英検4級合格するために、毎日リスニング問題を解く!」など……具体的な目標を立て、継続して取り組んでみましょう。この夏、一回りも二回りも大きく成長するでしょう。*You can do it! Go for it!*

世界平和を願って…… 千羽鶴作成

8月6日(広島平和記念日)に、八女市でも広島原爆の残り火を今に継ぐ「八女市平和記念式典」が星野村の星のふるさと公園で開催されます。その際に奉納する千羽鶴を、生徒会役員の働きかけにより、全校生徒で作っています。最後の糸通しを学級委員が責任もって行っています。



【お知らせ】

8月6日(木) 出校日 8:25 登校 11:10 帰りの会終了
12:30 完全下校(部活動含む)
8月25日(火) 前期後半始業日 16:15 完全下校
8月26日(水) 夏課題テスト(全学年)
部活等の遅刻・欠席連絡はLEBERをご活用ください。
なお、8月13日(木)14日(金)17日(月)は、学校閉庁日です。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

社会を明るくする運動 八女地区青少年弁論大会 7月4日(土)

7月4日(土)おりなす八女 はちひめホールにて、「社会を明るくする運動『八女地区青少年弁論大会』」が開催されました。本校からは、3年 さんが出場しました。「ぬくもりを分け合える日まで」というタイトルで、助産師になりたいという夢について語りました。このような夢を描ききっかけになったこと(動機)などを伝えるとともに、自分がこれから身に付けなければならないこと(助産師になるためには、大学へ進学し、資格を取る必要がある。そして、知識だけでなく、人に寄り添う優しさや責任感も必要である。)を述べ、「どんな時でも相手を安心させられるような人になりたい。周りの人の不安な気持ちを少しでも軽くできるような言葉をかけていきたい。」と締めくくりました。





7月は「同和問題啓発強調月間」です。



福岡県では、同和問題の解決を目指して、昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各種の啓発行事を実施し、差別をなくす取組を展開しています。部落差別のない社会の実現には、私たち一人一人が部落差別に対する理解を深めることが大切です。偏見を持たずに正しく知る、正しく学ぶことが大切です。

本校でも、7月7日(火)に人権学習を行いました。各学年の発達段階に応じた内容(1年「7つの立場」 2年「ハンセン病問題」 3年「LGBTQ」)の教材を用いて、世の中から「差別」をなくしていくために、自分が何を大切に考え、どう動いていくのか考えました。

また、7月の朝活動において、様々な人権問題について考え、それぞれの思いを「人権作文」に書き表すことができました。人権感覚を身につけることは、人として成長するためにとっても重要なことです。考える過程で、自分の内面と向き合って、自分の中の差別意識や、問題意識の希薄さなどに気づくこともできたのではないかと思います。

【生徒感想より】

【1年】 めあて:「7つの立場」について知り、様々な視点から人の気持ちを考えよう。(いじめをなくすために)

- ・友達が嫌がることをされていたのに、見て見ぬふりをしてしまっていた。友達が悪口を言われていたのに、見て見ぬふりをしてしまっていた。この学習で、傍観者もいじめている立場だとわかり、勇気をもつことが大切だと思った。
- ・傍観者の立場になることが多いなと思った。勇気を出すことはとても難しいと感じる人もいるだろう。だから、友達と一緒にいじめられている人に声をかけてあげたり、寄り添ってあげたりすることが大事なんじゃないかなと思った。注意も大事だけど、被害者への寄り添いが必要だと思った。
- ・友達がいやがることをされていた時、注意できなかったのも、これからは進んで注意をしたり、先生に相談したりしたいと思います。「見てるだけ」をやめて、きちんと注意できる人間になりたいなと思いました。そして安心して暮らせるクラスにしていきたいと思います。

【2年】 めあて:これまで学習してきた差別以外に、どんな差別があるのか考えよう。(ハンセン病問題について知る)

- ・ハンセン病による差別について学習した。社会の流れに、ずっと流されているのは良くないと思いました。この差別は、国の思い込みで起こったことだと考えます。自分が「おかしい」と思ったことは、指摘するようにしたいし、差別しない、同調しないように気を付けたいです。ハンセン病だけではなく、人種差別や部落差別をしないように心がけたい。相手が自分と違っていても、一人の人間として接していきたいです。
- ・差別が無くなるようにと思うことも大事だけど、それを願うだけではなく、その法律をなくすために行動していた人達みたいに大きなことはできなくても、小さいことでもいいから思っていることを行動に移そうと思いました。今も、これからも差別などで苦しむ人がいる世の中に絶対したくないから、私も含めて大人も子どもも、もう一度差別について一人一人が見直して、考えることが大事だと改めて思いました。
- ・ハンセン病について知り、一番怖いのは病気なんかではなく、人々から向けられる冷たい目などが差別であるなと思った。差別というのは誰の心の中にもあるからこそ、差別心を表に出して、誰かを傷つけることがないようにするのが大事だと思った。うわさや偏見に流されず、自分の目で確かめたり、勝手な自分の価値観で決めつけたりしないことが大切だなと思った。ハンセン病などの歴史に学び、過ちを繰り返さないことが大事だと思った。

【3年】 めあて:「多様性」って、何だろう? (LGBTQ について知る)

- ・性的マイノリティの人たちが、どれだけ悩んでいるか、人に打ち明けることはどれだけ勇気がいるかがわかった。
- ・自分らしくいれないのはつらいことだと思った。
- ・相談をうけたら、真剣に聞いてあげること、周囲の顔(様子)を見ること、何事も自分に置き換えて「自分だったら」と前提前提に(自分事として)考えたいと思います。今は、動画を見て考えているだけですが、実際に LGBTQ の方に出会ったらたぶん驚くと思うし、すぐに受け入れられるかどうかかわからないけれど、その人のことを理解して、安心できる存在になってあげたいと思います。
- ・周りの友達のこと、まだまだ知らないこともあるから、もっと知って、もっと仲良くなりたいし、悩み事が言い合えるクラスにしたい。世界には、いろんな人がいるし、自分と全く同じ人はいないと思う。見た目が似ていても、好きなことは違う。一人一人が周りのことを考えて行動していくと、多様性っていうのがあたりまえみたいになると思った。



授業参観および学年懇談会

7月10日(金)



7月10日(金)、授業参観(3限目)、学年懇談会(4限目)を行ったところ、35℃を超える蒸し暑さの中にも関わらず、多くの保護者にご来校いただき、誠にありがとうございました。

自分で考え、判断し、互いに深め合うことができる生徒を育てるために、「自己決定の場」を設定することを授業づくりで大切にしています。このことは、上妻小学校・三河小学校とも共通理解し、9年間を通して、取り組んでいることです。「自己決定」とは、課題解決に向けて、これまでに学んだことを駆使しながら、まずは自分の考えを持ち(根拠や理由を明らかにして)、次に友達との交流を通して、その考えをよりよいものへ高めていく学習活動のことです。生徒一人一人が、主体的に授業に関わり、学びを深めていくよう努めてまいります。

学年懇談会では、それぞれの学級・学年の状況をお伝えするとともに、保護者の皆様とよい情報交換ができました。お伝えした通り、河川での死亡事故等が続いています。また、用水路等の川の流れも、想像以上に速く近づくとても危険です。学校でも指導をしておりますが、夏休み中も子どもたちの安全が守られますよう、地域での見守りをよろしくお願いいたします。